



次の問いに答えよ。

(1) $|x^2 - x - 23|$ の値が, 3 を法として 2 に合同である正の整数 x をすべて求めよ。

(2) k 個の連続した正の整数 x_1, \dots, x_k に対して,

$$|x_j^2 - x_j - 23| \quad (1 \leq j \leq k)$$

の値がすべて素数になる k の最大値と, その k に対する連続した正の整数 x_1, \dots, x_k をすべて求めよ。

ここで, k 個の連続した整数とは,

$$x_1, x_1 + 1, x_1 + 2, \dots, x_1 + k - 1$$

となる列のことである。





複素数平面上の異なる 3 点 A, B, C を複素数 α, β, γ で表す。ここで A, B, C は同一直線上にないと仮定する。

- (1) $\triangle ABC$ が正三角形となる必要十分条件は

$$\alpha^2 + \beta^2 + \gamma^2 = \alpha\beta + \beta\gamma + \gamma\alpha$$

であることを示せ。

- (2) $\triangle ABC$ は正三角形のとき、 $\triangle ABC$ の外接円上の点 P を任意にとる。このとき、

$$AP^2 + BP^2 + CP^2$$

および

$$AP^4 + BP^4 + CP^4$$

を外接円の半径 R を用いて表せ。ただし、2 点 X, Y に対し、 XY とは線分 XY の長さを表す。





座標空間に 5 点

$O(0, 0, 0)$, $A(3, 0, 0)$, $B(0, 3, 0)$, $C(0, 0, 4)$, $P(0, 0, -2)$

をとる。さらに $0 < a < 3$, $0 < b < 3$ に対して 2 点 $Q(a, 0, 0)$ と $R(0, b, 0)$ を考える。

- (1) 点 P, Q, R を通る平面を H とする。平面 H と線分 AC の交点 T の座標, および平面 H と線分 BC の交点 S の座標を求めよ。
- (2) 点 Q, R, S, T が同一円周上にあるための必要十分条件を a, b を用いて表し, それを満たす点 (a, b) の範囲を座標平面上に図示せよ。





n を正の整数とする。曲線 $y = \sin x$ ($(n-1)\pi \leq x \leq n\pi$) と x 軸で囲まれた部分を D_n とする。ち
直線 $x + y = 0$ を ℓ とおき、 ℓ の周りに D_n を 1 回転させてできる回転体を V_n とする。

- (1) $(n-1)\pi \leq x \leq n\pi$ に対して、点 $(x, \sin x)$ を P とおく。また P から ℓ に下ろした垂線と x 軸の交点を Q とする。線分 PQ を ℓ の周りに 1 回転させてできる図形の面積を x の式で表せ。
- (2) (1)の結果を用いて、回転体 V_n の体積を n の式で表せ。





k を正の整数とし, $a_k = \int_0^1 x^{k-1} \sin\left(\frac{\pi x}{2}\right) dx$ とおく。

- (1) a_{k+2} を a_k と k を用いて表せ。
- (2) k を限りなく大きくするとき, 数列 $\{ka_k\}$ の極限值 A を求めよ。
- (3) (2)の極限值 A に対し, k を限りなく大きくするとき, 数列

$$\{k^m a_k - k^n A\}$$

が 0 でない値に収束する整数 m, n ($m > n \geq 1$) を求めよ。

またそのときの極限值 B を求めよ。

- (4) (2)と(3)の極限值 A, B に対し, k を限りなく大きくするとき, 数列

$$\{k^p a_k - k^q A - k^r B\}$$

が 0 ではない値に収束する整数 p, q, r ($p > q > r \geq 1$) を求めよ。

またそのときの極限值を求めよ。

